

〔様式例1〕－① **個別の教育支援計画**（合理的配慮対応版）

**プロフィール（その1）**

（ふりがな） 本人の名前	男・女	連絡先	〒 福岡県 TEL ( )
生年月日	年 月 日	緊急連絡先	① ②

※ 私は、本計画の内容を確認しました。

確認日	在籍校等	学年	本人（保護者）	作成者	校長
年 月 日	園・所	組	印	印	印
年 月 日	園・所	組	印	印	印
年 月 日	園・所	組	印	印	印
年 月 日	小学校	1年	印	印	印
年 月 日	小学校	2年	印	印	印
年 月 日	小学校	3年	印	印	印
年 月 日	小学校	4年	印	印	印
年 月 日	小学校	5年	印	印	印
年 月 日	小学校	6年	印	印	印
年 月 日	中学校	1年	印	印	印
年 月 日	中学校	2年	印	印	印
年 月 日	中学校	3年	印	印	印
年 月 日	高等学校	年	印	印	印
年 月 日	高等学校	年	印	印	印
年 月 日	高等学校	年	印	印	印
年 月 日	高等学校	年	印	印	印

※ 情報管理を徹底すること

〔様式例1〕 -② **プロフィール（その2）**

本人の特徴	
診 断 名	
かかりつけの 医療機関等	
持病・服薬等 (アレルギー等)	

	実施日（年齢）	実施機関	結果等
診断・検査等の記録			

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その2）」と同じものです。

〔様式例1〕 -③ **プロフィール（その3）**

○ 好きなこと、得意なこと

○ 嫌いなこと、苦手なこと

○ 興味・関心、こだわりなど

〔様式例1〕－④ **プロフィール（その4）**

○ 感覚過敏 （視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚など）

○ コミュニケーション手段 （ことば、文字、絵や写真の使用など）

○ その他、特に配慮が必要なこと （排泄、外出、初めての場所など）

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その4）」と同じものです。

## 引き継ぎシートA (保育所(園)・幼稚園 → 小学校・特別支援学校)

(ふりがな) 本人の 名前		男 ・ 女	記入者 (所属・氏名)
生年月日	年 月 日		

本人の将来の夢・希望	
好き・得意なこと	嫌い・苦手なこと

項 目	保育所 (園)・幼稚園での状況	こうすれば大丈夫 (有効な支援)
健康・生活	健康面	
	視覚	
	聴覚	
	移動	
	食事	
	排泄	
	衣服着脱	
行動・社会性・学習準備	感覚過敏	
	危険行為	
	パニック	
	こだわり	
	指示理解	
	注意持続	
	多動・衝動	
	集団参加	
	対人関係	
	日常会話	
意思伝達		
文字・数		

※ 支援を要する項目に☑(チェック)を入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートA」と同じものです。

○ 就学後も継続してほしい配慮事項など（保育所・幼稚園から）

○ 関係機関（医療・療育・福祉、地域生活など）

○ 学校生活に関する期待・要望など（保護者から）

## 引き継ぎシート B〔小学校 → 中学校・特別支援学校〕

(ふりがな) 本人の名称		男 ・ 女	
生年月日	年 月 日		記入者(所属・氏名)

本人の将来の夢・希望	
好き・得意なこと、得意な教科	嫌い・苦手なこと、苦手な教科

	項 目	小学校などでの状況	こうすれば大丈夫(有効な支援)
健康・生活	健康面		
	視覚・聴覚		
	移 動		
	食 事		
	排 泄		
	衣服着脱		
行動・社会性・学習	感覚過敏		
	パニック		
	こだわり		
	指示理解		
	注意持続		
	多動・衝動		
	集団参加		
	困ったときの意思表示		
	対人関係		
	日常会話		
	意思伝達		
	読み・書き 計算・推論		

※ 支援を要する項目に☑(チェック)を入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシート B」と同じものです。

〔様式例4〕－⑤－B

○ 進学後も継続してほしい配慮事項など（小学校から）

○ 関係機関（医療・療育・福祉、地域生活など）

○ 学校生活に関する期待・要望など（保護者から）

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートB」と同じものです。



## 引き継ぎシートC〔中学校 → 高等学校・特別支援学校〕

(ふりがな) 本人の名前		男 ・ 女	記入者(所属・氏名)
生年月日	年 月 日		

本人の将来の夢・希望	
好き・得意なこと、得意な教科	嫌い・苦手なこと、苦手な教科

	項 目	中学校などでの状況	こうすれば大丈夫(有効な支援)
健康・生活	健康面		
	視覚・聴覚		
	移 動		
	食 事		
	排 泄		
	衣服着脱		
行動・社会性・学習	感覚過敏		
	パニック		
	こだわり		
	計 画 性		
	交通機関		
	指示理解		
	多動・衝動		
	困ったときの意思表示		
	対人関係		
	日常会話		
意思伝達			
読み・書き 計算・推論			

※ 支援を要する項目に☑(チェック)を入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートC」と同じものです。

○ 進学後も継続してほしい配慮事項など（中学校から）

○ 関係機関（医療・療育・福祉、地域生活など）

○ 学校生活に関する期待・要望など（本人・保護者から）

（本人の願い）

（保護者の願い）

# 指導の方針

○ 将来像
○ 目指す児童生徒像
○ 主な合理的配慮 ※ 【合理的配慮の観点】を明記すること（例：①－1－1）
○ 具体的な指導
○ 連携機関
○ 指導の記録
○ 備考

## 【学校における合理的配慮の観点（3観点11項目）】

<b>①教育内容・方法</b> ①－1 教育内容 ①－1－1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮 ①－1－2 学習内容の変更・調整 ①－2 教育方法 ①－2－1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮 ①－2－2 学習機会や体験の確保 ①－2－3 心理面・健康面の配慮	<b>②支援体制</b> ②－1 専門性のある指導体制の整備 ②－2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮 ②－3 災害時等の支援体制の整備 <b>③施設・設備</b> ③－1 校内環境のバリアフリー化 ③－2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮 ③－3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮
--	---

〔様式例1〕 - ① **個別の教育支援計画** (合理的配慮対応版)

平成28年4月からの「障害者差別解消法」の施行に伴い、学校等の公的機関においては合理的配慮の提供が法的義務となります。その際、合理的配慮の内容は個別の教育支援計画に明記することが重要であり、また、個別の指導計画にも活用されることが望ましいとされています。さらに、定期的に教育相談や個別の教育支援計画に基づく関係者による会議等を行う中で、必要に応じて合理的配慮を見直していくことが適当であるとされています。

中央教育審議会初等中等教育分科会（H24年7月23日）

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」より

※ 私は、本計画の内容を確認しました。

確認日	在籍校等	学年	本人（保護者）	作成者	校長
年 月 日	園・所	年	印	印	印
年 月 日			印		印
年 月 日	小学校	1年			
年 月 日	小学校	2年	印	印	印
年 月 日	小学校	3年	印	印	印
年 月 日	小学校	4年	印	印	印
年 月 日	小学校	5年	印	印	印
年 月 日	小学校	6年	印	印	印
年 月 日					印
年 月 日					印
年 月 日					印
年 月 日	高等学校	3年	印	印	印

保護者との情報交換を通して、合意形成を図ります。

学校全体で組織的に対応できるように、校内委員会等を通して関係者の共通理解を図るとともに、その内容について校長に確認してもらいます。

この個別の教育支援計画のシートの多くは、「ふくおか就学サポートノート」のシートと同じものです。

これは、保護者より提供される「ふくおか就学サポートノート」の情報を、積極的に個別の教育支援計画へ活用することで、保護者との連携及び合意形成を図るものです。

※ 情報管理を徹底すること

〔様式例1〕 -② **プロフィール（その2）**

本人の特徴	<div style="border: 1px solid black; background-color: #FFD1E8; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その2）」のシートを活用し、専門機関等の情報を把握します。</p> </div>
診断名	
かかりつけの医療機関等	
持病・服薬等 （アレルギー等）	

	実施日（年齢）	実施機関	結果等
診断・検査等の記録			

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その2）」と同じものです。

〔様式例1〕 -③ **プロフィール（その3）**

○ 好きなこと、得意なこと

「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その3）」のシートを活用し、児童生徒の行動や認知などの面から指導に生かすことができる情報を把握します。

○ 嫌いなこと、苦手なこと

○ 興味・関心、こだわりなど

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その3）」と同じものです。

〔様式例1〕－④ **プロフィール（その4）**

○ 感覚過敏 （視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚など）

「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その4）」のシートを活用し、児童生徒の行動や認知などの面から指導に生かすことができる情報を把握します。

○ コミュニケーション手段 （ことば、文字、絵や写真の使用など）

○ その他、特に配慮が必要なこと （排泄、外出、初めての場所など）

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「プロフィール（その4）」と同じものです。

## 引き継ぎシートA (保育所(園)・幼稚園 → 小学校・特別支援学校)

(ふりがな) 本人の 名前		男 :	記入者(所属・氏名)
生			
<p>「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートA」のシートを活用し、前在籍校(保育所・保育園・幼稚園)での様子や有効な支援などを把握します。</p>			
好き・得意なこと		嫌い・苦手なこと	
項 目		保育所(園)・幼稚園での状況	こうすれば大丈夫(有効な支援)
健康・生活	健康面		
	視覚		
	聴覚		
	移動		
	食事		
	排泄		
衣服着脱			
行動・社会性・学習準備	感覚過敏		
	危険行為		
	パニック		
	こだわり		
	指示理解		
	注意持続		
	多動・衝動		
	集団参加		
	対人関係		
	日常会話		
	意思伝達		
	文字・数		

※ 支援を要する項目に☑(チェック)を入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートA」と同じものです。



○ 就学後も継続してほしい配慮事項など（保育所・幼稚園から）

○ 関係機関（医療・療育・福祉、地域生活など）

○ 学校生活に関する期待・要望など（保護者から）

## 引き継ぎシート B〔小学校 → 中学校・特別支援学校〕

<small>(ふりがな)</small> 本人の 名前		男 ・ 女	記入者 (所属・氏名)
生			
「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートB」のシートを活用し、前在籍校（小学校）での様子や有効な支援などを把握します。			
好き・得意なこと、得意な教科		嫌い・苦手なこと、苦手な教科	
項 目		小学校などでの状況	こうすれば大丈夫 (有効な支援)
健康・生活	健康面		
	視覚・聴覚		
	移 動		
	食 事		
	排 泄		
衣服着脱			
行動・社会性・学習	感覚過敏		
	パニック		
	こだわり		
	指示理解		
	注意持続		
	多動・衝動		
	集団参加		
	困ったときの意思表示		
	対人関係		
	日常会話		
意思伝達			
読み・書き 計算・推論			

※ 支援を要する項目に☑(チェック)を入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートB」と同じものです。

〔様式例1〕－⑤－B

○ 進学後も継続してほしい配慮事項など（小学校から）

○ 関係機関（医療・療育・福祉、地域生活など）

○ 学校生活に関する期待・要望など（保護者から）

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートB」と同じものです。

## 引き継ぎシートC〔中学校 → 高等学校・特別支援学校〕

(ふりがな) 本人の名前		男 ・ 女	記入者(所属・氏名)
<p>「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートC」のシートを活用し、前在籍校(中学校)での様子や有効な支援などを把握します。</p>			
好き・得意なこと、得意な教科		嫌い・苦手なこと、苦手な教科	
項 目		中学校などでの状況	こうすれば大丈夫(有効な支援)
健康・生活	健康面		
	視覚・聴覚		
	移 動		
	食 事		
	排 泄		
衣服着脱			
行動・社会性・学習	感覚過敏		
	パニック		
	こだわり		
	計 画 性		
	交通機関		
	指示理解		
	多動・衝動		
	困ったときの意思表示		
	対人関係		
	日常会話		
意思伝達			
読み・書き 計算・推論			

※ 支援を要する項目に☑(チェック)を入れ、該当項目に関する状況や有効な支援等を記入する。

※ このシートは、「ふくおか就学サポートノート」の「引き継ぎシートC」と同じものです。

○ 進学後も継続してほしい配慮事項など（中学校から）

○ 関係機関（医療・療育・福祉、地域生活など）

○ 学校生活に関する期待・要望など（本人・保護者から）

（本人の願い）

（保護者の願い）

# 指導の方針

○ 将来像	将来の生活について、本人（保護者）の希望や願いなどを基に記入します。
○ 目指す児童生徒像	将来像に向かって、在学中に身に付けさせたい力について焦点化して記入します。
○ 主な合理的配慮 ※ 【合理的配慮の観点】を明記すること（例：①－1－1）	【合理的配慮の観点】を参考に多面的かつ具体的に検討し、優先事項を記入します。
○ 具体的な指導	どのような場面で、だれが、どのような指導を行うかなど、学校全体で組織的に対応できるように、役割分担や指導・支援・配慮について記入します。
○ 連携機関	連絡機関名や連絡相手、連絡方法、支援内容、所見など、医療機関、福祉機関に係る情報を記入します。
○ 指導の記録	教育的支援などの成果や課題、諸検査の結果など次年度への引継事項を記入します。
○ 備考	災害時への対応や継続協議事項など、上述の項目以外で必要な事項などを記入します。

## 【学校における合理的配慮の観点（3観点11項目）】

①教育内容・方法	②支援体制
①－1 学習・克服 「指導の方針」を立てる際、「保護者からの情報」や「校内関係者の助言」、「連携機関の助言」、「巡回相談」、「県教育センター特別支援教育関連研究紀要」などを参考にすることができます。	②－1 指導体制の整備 「合理的配慮」を決める際、全ての「学校における合理的配慮の観点（3観点11項目）」から検討することで、多面的かつ具体的に考えることができます。
①－2－3 心理面・健康面の配慮	③施設 ③－3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

[様式例] 記入例①

# 個別の教育支援計画 (合理的配慮対応版)

## プロフィール (その1)

(ふりがな) 本人の名前	○ ○ ○ ○ 男・女	連絡先	〒○○○-○○○○ 福岡県○○市○○・・・  Tel△△△ (△△△) △△△△
生年月日	○年 ○月 ○日	緊急連絡先	① △△△ (△△△) △△△△ ② □□□ (□□□□) □□□□

※ 私は、本計画の内容を確認しました。

確認日	在籍校等	学年等	本人 (保護者)	作成者	校長
年 月 日	園・所	組	印	印	印
○年○月○日	□□(男)・所	組	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	□□(男)・所	組	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	○○立○○小学校	1年	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	○○立○○小学校	2年	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	○○立○○小学校	3年	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	○○立○○小学校	4年	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	○○立○○小学校	5年	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	○○立○○小学校	6年	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
○年○月○日	○○立△△中学校	1年	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)	○○ ○○ (印)
年 月 日	中学校	2年	印	印	印
年 月 日	中学校	3年	印	印	印
年 月 日	高等学校	1年	印	印	印
年 月 日	高等学校	2年	印	印	印
年 月 日	高等学校	3年	印	印	印

※ 情報管理を徹底すること

# 指導の方針

## ○ 将来像

- ・将来、仕事などに落ち着いて取り組んだり、周囲の人々と円滑にコミュニケーションを図ったりするなど生活力を身に付け自立した生活をしてほしい。

## ○ 目指す児童生徒像

- ・落ち着いて学習できるようになるとともに、目指す進路実現のための基礎的な学力を身に付けている。
- ・先生や友達の助言などを受け入れ、自分の考えを落ち着いて伝えることができる。

## ○ 主な合理的配慮 ※ 【合理的配慮の観点】を明記すること（例：①－1－1）

- ・困難さの顕著な集中力について、活動の手順などの見通しをもたせ、前回からの伸びやあきらめずにやり遂げたことなどを認めるようにする。（①－1－1）
- ・説明や指示などについては、聴覚情報を精選し提供する量を調整したり、できるだけ視覚情報も合わせて提供したりするなど工夫して伝える。（①－2－1）

## ○ 具体的な指導

- ・学校行事等において学年部は、ルールなどを活動前に説明し、その後必ず個別に確認する。
- ・各教科等において教科担任は、板書の構造化や電子黒板の活用、絵図の提示など視覚情報を工夫する。
- ・家庭学習等において保護者は、メモを確認し促すとともに、書くことについて量を調整する。

## ○ 連携機関

- ・〇〇教育センター臨床心理士（〇〇様）△△△（△△△）△△△△。視覚情報の提供。ルール等の明示。
- ・〇〇クリニック医師（〇〇様）□□□（□□□）□□□□。小4まで服薬。3ヶ月1回程度定期的受診。

## ○ 指導の記録

- ・学習において、私語が減り落ち着いて取り組む時間が伸びた（現在30～40分程度）。また、学力も伸びてきている（年度初めから約8ポイント増加）。見通しをもたせること、視覚情報を合せて提示することは効果がある。
- ・学校行事や生活場面において、激しく拒否することはほとんどなくなった。また、友達とトラブルになることも減ってきている（現在、2～3週間に1回程度）。
- ・授業以外の日常の生活において、些細なことでトラブルがおきる場合があり、自分の気持ちや考えを適切に伝えるなどのソーシャルスキルを高める必要がある。

## ○ 備考

- ・災害時等の対応については、「災害時等対応マニュアル」を参照。・支援員については、継続協議中

### 【学校における合理的配慮の観点（3観点11項目）】

#### ①教育内容・方法

##### ①－1 教育内容

- ①－1－1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮
- ①－1－2 学習内容の変更・調整

##### ①－2 教育方法

- ①－2－1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
- ①－2－2 学習機会や体験の確保
- ①－2－3 心理面・健康面の配慮

#### ②支援体制

- ②－1 専門性のある指導体制の整備
- ②－2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮
- ②－3 災害時等の支援体制の整備

#### ③施設・設備

- ③－1 校内環境のバリアフリー化
- ③－2 発達、障害の状態及び特性等にに応じた指導ができる施設・設備の配慮
- ③－3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

※ 本事例は、国立特別支援教育総合研究所のインクルーシブ教育システム構築支援データベースの事例等をもとに作成したものです。